

## 学術情報委員会活動報告（平成 19 年度上期）

### I 学術情報委員会

#### 1. 会議等の開催状況

##### (1) メール会議（平成 19 年 7 月 26 日）

平成 19 年度電子ジャーナル・タスクフォースの構成について

##### (2) 平成 19 年度第 1 回委員会（平成 19 年 9 月 25 日開催）

#### 2. 活動内容

- (1) 平成 21 年 4 月に行われる国立情報学研究所の目録所在情報システムの更新に向けて、要望事項を取りまとめるため図書館システム小委員会を設置した。
- (2) 図書館システム小委員会の報告をもとに「目録所在情報システム更新に対する要望について」を取りまとめた。協議の場として、国立情報学研究所へワークショップの開催を依頼予定。（11 月下旬～12 月上旬を予定）
- (3) 学術図書館研究委員会（SCREAL、委員長 佐藤義則教授（東北学院大学））から依頼のあった『学術情報の取得動向と電子ジャーナルの利用度に関する調査』への協力をお願いについて協議し、学術情報委員会として協力することとなった。
- (4) デジタルコンテンツ・プロジェクトの最終報告書「電子図書館機能の高次化に向けて：3 - 学術情報デジタル化時代の大学図書館 - 」を取りまとめた。Web での公開を予定。

#### 3. 平成 19 年度委員

委員長	植松貞夫	筑波大学附属図書館長
	加徳健三	北海道大学附属図書館情報サービス課長
	北村明久	東北大学附属図書館事務部長
	田中成直	筑波大学附属図書館副館長
	土屋俊	千葉大学文学部教授・副理事（図書館情報担当）
	関川雅彦	東京大学附属図書館情報管理課長
	伊藤義人	名古屋大学附属図書館長
	牧村正史	名古屋大学附属図書館情報管理課長
	棚橋章	神戸大学附属図書館事務部長
	尾城孝一	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長

### II 平成 19 年度電子ジャーナル・タスクフォース活動報告

#### 1. 平成 19 年度 電子ジャーナル・タスクフォース体制

主査：関川 雅彦（東京大学附属図書館情報管理課長）

出版者協議チーム（出版者との協議）

- \* 熊淵 智行（横浜国立大学図書館・情報部図書館情報課長）
- 照内 弘通（東北大学附属図書館情報管理課雑誌情報係長）
- 富田 健市（筑波大学附属図書館情報管理課長）
- 鴨志田 美由喜（筑波大学附属図書館情報管理課雑誌受入係長）
- 土屋 俊（千葉大学教授 副理事）
- 加藤 晃一（千葉大学情報部学術情報課学術情報統括グループ専門職員）
- 森 一郎（千葉大学情報部学術情報課学術情報構築グループ専門職員）
- 山本 和雄（東京大学附属図書館総務課専門員）

- 守屋 文葉 (東京大学附属図書館情報管理課資料契約係長)  
 菅野 朋子 (一橋大学附属図書館学術情報課主査(雑誌情報主担当))  
 吉田 幸苗 (横浜国立大学図書館・情報部情報企画課情報企画係長)  
 渡邊 俊彦 (名古屋大学附属図書館情報システム課長)  
 大塚 志乃 (大阪大学附属図書館学術情報整備室学術情報収集班)
- 調査・広報チーム(電子ジャーナルの導入調査、広報活動)
- \*加藤 信哉 (東北大学附属図書館総務課長)  
 村田 輝 (埼玉大学研究協力部図書情報課専門職員図書館企画担当)  
 村上 健治 (京都大学附属図書館情報管理課電子情報掛)  
 首東 誠 (広島大学図書館部学術情報整備グループ図書コレクション主担当)

<備考> \*はチーム責任者

## 2. 主な活動報告

### 出版者協議チーム

#### (1) 各出版者との協議状況

2008年度の契約条件が確定した出版者(ACM(Association for Computing Machinery)、APS(American Physical Society)、Cambridge UP、IEEE(The Institute of Electrical & Electronics Engineers Inc.)、IEEE-CS(The Institute of Electrical & Electronics Engineers Inc. Computer Society)、Nature、Oxford UP、Springer、Wiley)については、各大学担当者へ通知し、タスクフォースのホームページへ掲載した。

Elsevierについては、2008年以降のコンソーシアムモデルの協議を行い、提案条件はほぼ確定した。Elsevierから提案書が届き次第、内容を確認の上各大学に送付する。なお、シェアード・アクセスコレクション廃止に伴い、Elsevier社及び関係大学で、フリーダム・コレクションまたはサブジェクト・コレクションへの移行プランについて協議が行われた。現在、サブジェクト・コレクションへ変更予定の大学を対象としたユニークタイトルコレクション作成の作業が、幹事役大学を中心に行われている。

Wiley-Blackwellについては、2007年11月から2009年以降の提案に関する協議を開始する予定である。2008年は現在の条件を継続するが、Blackwellの提案については協議中の部分があり、確定した段階で通知を行う。

Springer、Oxford UPの2009年以降のコンソーシアムモデルについて、協議を開始した。ACS(American Chemical Society)、RSC(Royal Society of Chemistry)、Springer e-Booksについては、昨年PULCと協調した提案内容を協議している。いずれも2008年の契約条件を協議中である。

Sage、Taylor & Francisの2008年提案については継続協議中である。

#### (2) 地区説明会の開催

昨年度に引き続き、電子ジャーナルコンソーシアムに関する本年の協議状況の詳細、及び電子ジャーナルの契約と利用に関する実務について、各地区において説明会を実施している。

(参加者)タスクフォース委員2名

主に各大学図書館の雑誌契約担当者

(開催日程)

- |            |                        |           |
|------------|------------------------|-----------|
| 1. 中国四国地区  | 9月4日(火) 14:00 - 16:00  | 岡山大学附属図書館 |
| 2. 関東・東京地区 | 9月12日(水) 10:00 - 12:00 | 東京大学総合図書館 |
| 3. 九州地区    | 9月14日(金) 10:00 - 12:00 | 九州大学附属図書館 |

4. 北信越地区	9月20日(木) 14:00 - 16:00	新潟大学附属図書館
5. 近畿地区	9月25日(火) 10:00 - 12:00	京都大学附属図書館
6. 北海道地区	9月27日(木) 10:00 - 12:00	北海道大学附属図書館
7. 東海地区	10月3日(水) 10:00 - 12:00	名古屋大学附属図書館
8. 東北地区	10月5日(金) 14:00 - 16:00	東北大学附属図書館

#### 調査・広報チーム

##### (1) 契約状況調査

平成19年5月に国立大学図書館における電子ジャーナル等の契約状況調査(平成19年度)(各大学の予算状況、主要各社の契約状況)を実施した。ホームページに調査結果を速報版として掲載した。

「国立大学図書館におけるデジタルコンテンツの導入状況について」を平成19年度契約状況調査に基づいて8月に作成した。この内容の一部は電子ジャーナル地区説明会等の資料として活用された。

##### (2) 電子ジャーナル・タスクフォースのホームページの更新

以下の資料をホームページに逐次掲載し、更新している。

統計資料:平成19年度契約状況調査

交渉相手出版及び協議結果:2008年に向けた出版社協議の状況(一覧表)と各出版社別提案内容(提案書、申込書)等

国立大学図書館協会が会員となったCOUNTERの関連資料(実務コードの仮訳、準拠ベンダー一覧等)

### III 図書館システム小委員会

図書館システム小委員会は、国立情報学研究所の目録所在情報システム更新に向けて、国立大学図書館協会としての要望事項を取りまとめることを目的として、平成19年9月末日を期限とし平成19年6月に設置された。

#### 事業内容

- (1) 小委員会では、国立情報学研究所において、平成21年4月及び平成26年4月の目録所在情報システムの更新に向けて、システムの基本構想の策定、方向性の検討、要件整理が着手されたことを受けて、国立大学図書館協会として要望すべき事項を取りまとめる。
- (2) 検討にあたっては、国立情報学研究所における制約条件等に必ずしもとらわれず、今後の図書館システムのあり方を踏まえて、理想形を追求し、主としてユーザ志向で発想する。
- (3) 小委員会は、要望事項を取りまとめるにあたって国立情報学研究所との調整を行なわない。調整は、学術情報委員会が行なう。
- (4) 9月上旬までに、学術情報委員会に検討結果を報告する。

#### 1. 会議等の開催状況

- (1) 在関東メンバー予備打合せ 平成19年6月19日(火) 筑波大学東京キャンパス
- (2) 第1回 平成19年7月27日(金) 埼玉大学東京ステーションカレッジ
- (3) 平成19年6月~9月 メールによる打合せ

#### 2. 主な活動内容

- (1) 第54回国立大学図書館協会総会ワークショップに先立ち筑波大学附属図書館が実施した「図書

館システムに関するアンケート」の「設問3 国立情報学研究所のシステムに対する要望」の回答を整理しまとめた。

(2)目録所在情報システム更新に対する要望事項について意見交換を行い、「目録所在情報システム更新に対する要望について」を取りまとめ、9月25日に開催された学術情報委員会に提出した。

### 3. 今後の活動

小委員会は9月末限りの設置ではあるが、11月下旬以降に開催される見込みの国立情報学研究所（次世代目録WG）とのワークショップに小委員会メンバーが出席し、協議に参加する予定である。

### 4. メンバー

筑波大学附属図書館情報サービス課長	高橋 努（主査）
埼玉大学図書情報課専門職員	村田 輝
東京外国語大学情報図書館課情報サービス係長	加藤 さつき
横浜国立大学図書館情報課長	熊淵 智行
名古屋大学附属図書館情報システム課長	渡邊 俊彦
京都大学附属図書館情報管理課電子情報係	筑木 一郎
大阪大学附属図書館利用支援課長	片山 俊治
九州大学附属図書館利用支援課調査サービス係	片岡 真